

神の御座のビジョン、世界情勢の背後にある霊的光景、
そして神の行政の中心としてのキリストを見る

聖書：ダニエル 4:17, 26, 34-37. 7:9-10. 10:4-21. 啓 1:4-5. 4:5. 5:6

I. わたしたちは、神の御座が全宇宙の神の行政の中心であるという霊的ビジョンを見る必要があります——啓 4:2. 5:1. エゼキエル 1:26 :

A. 神は主権ある方として、神が求めているものを、神の心の願いにしたがって、また神の永遠のエコノミーにしたがって完成する全き能力を持っています——啓 4:11. ダニエル 4:35. ローマ 9:19-24。

B. 御座の上の神は、背後であらゆる人とあらゆる事を支配しています——イザヤ 6:1. 列王上 22:19 :

1. 世界情勢に関するあらゆる事は、御座の上で決定されます。

2. 神の御座の支配の外では、何事も起こり得ません——ヨブ 1:6-12. 2:1-6。

C. 啓示録は神の行政についての書であり、神聖な行政のための神の御座を明らかにしています——啓 4:2. 5:1. 6:16. 7:9. 8:3. 21:5 :

1. 啓示録第 4 章と第 5 章の御座は、神聖な権威の御座です。

2. 外面的には、御座は目に見えず、人によって認識されないものですが、実は、御座は背後で、あらゆる人とあらゆる事を支配しています。

D. ダニエル書は、この世のすべての王と王国が神の行政の下にあることを見せています——ダニエル 7:9-10. 2:34-35 :

1. 人類のすべての統治は、ニムロデから反キリストに至るまで、天の神による天の支配の下にありましたが、またこれからもあり続けます——7:9-12。

2. 神がネブカデネザルに知らせたのは、彼が無であったということと、大能の神、人の王国の支配者、王国を意図するままだれにでも与える方がすべてであるということです——4:34-37。

3. 世界情勢はすべて、天の神による天の支配の下にあります——26 節。

E. 地上における人類のすべての統治に対する、天の神による天の支配は、神の永遠のエコノミーと符合します。神の永遠のエコノミーとは、キリストが旧創造を終結させ、新創造を発芽させて、人類の統治の集大成を砕き粉砕し、神の永遠の王国を確立することです——2:37, 44. 4:17. 啓 11:15。

II. ダニエル書第 10 章は、世界情勢の背後にある霊的光景のビジョンを提示します :

A. 霊的世界では、キリストが首位である方です。ですから、第 10 章では、彼が最初に言及されています——ダニエル 10:4-9 :

1. 神の行動の中心性と普遍性である卓越したキリストは、ひとりの人とし

てダニエルに現れて、彼に評価させ、彼を慰め、励まし、期待させ、堅固にしました。

2. ダニエルの見たキリストは、尊く、価値があり、全体的であり、完全です：

- a. エホバが人と成った方として、キリストは神の行動の中心性と普遍性であって、神のエコノミーを完成します。
- b. 祭司として、キリストはわたしたちを顧みています。王として、キリストはわたしたちを支配しています—— 5 節。
- c. キリストはダニエルに対して、彼の尊さと威厳の中で現れ、人を照らすための彼の輝く明るさの中で現れ、探り裁くための彼の照らす眼光の中で現れました—— 6 節 a-c。
- d. キリストは、彼の働きと行動の輝きの中で現れ、また人を裁くための彼の強い語りかけの中で現れました—— 6 節 d-e。

B. ダニエル書第 10 章における霊的光景は、目に見えない霊的戦いに従事している善良な霊と邪悪な霊を含んでいます—— 12-13, 20-21 節：

1. ダニエルが祈っていた時 (2-3 節)、空中において霊的闘争が二つの霊の間で進行していました。一方はサタンに属し、もう一方は神に属します。
2. 背後で、霊的闘争、人の目で見ることのできない闘争が進行していることを、わたしたちが見ることは極めて重要です。

C. これらの闘争が人類の政権の間で進行しているとき、神がその背後で世界情勢を管理しています—— 7:10。

Ⅲ. キリストは、神の永遠のエコノミーにしたがった神の行政の中心です——啓

5:6, 22:1 :

A. 昇天の中のキリストは、すでに御座に着いており、神の行政、すなわち、神の統治上の管理を執行します——ヘブル 12:2. 啓 3:21. 22:1. 5:6 :

1. 御座に座している方は、神であるだけでなく、人でもあります。彼は、神・人、人・神、神と人とのミングリングです——使徒 7:56。
2. 主イエスが十字架につけられ葬られた後、神は彼を復活させ、彼をご自身の右に座らせ、彼を全宇宙の主としました—— 2:34-36. ペリピ 2:5-11。

B. 御座に着いているキリスト、すなわち、神の宇宙的な統治における天的な行政執行者は、ふさわしい獅子・小羊、勝利を得た贖い主です——啓 5:1-14 :

1. 獅子として、彼は敵サタンに対抗する戦士です。小羊として、彼は贖い主です—— 5-6 節。
2. キリストは、サタンの反逆と人の墮落という問題を解決したので、神のエコノミーの巻物を開くのにふさわしいです—— 1-7 節。
3. 小羊、贖い主、わたしたちの罪のために十字架上でほふられた方は、今

や御座の上で、全宇宙に対する神の行政を執行しています。

4. わたしたちが認識する必要があるのは、宇宙の主がひとりの人、神・人、人・神であるということです——エゼキエル 1:26。
- C. 昇天し御座に着いたことにおいて、キリストは地上の諸王の支配者です——啓 1:5 :
1. キリストが諸王の支配者になることは、彼が地上の支配者たちをはるかに超えていることを意味します——エペソ 1:20-22. ピリピ 2:9-11。
 2. 地上の支配者たちは、真の支配者ではありません。キリスト、王の王、主の主が、真の支配者です——啓 19:16。
 3. キリストは、神の御座の前で燃えている神の七つの霊によって、地上の諸王の支配者として、神の行政を執行しています—— 1:4. 4:5. 5:6 :
 - a. この世のすべての支配者は、七つの霊の炎の下にあります—— 1:5。
 - b. 世界情勢と国際情勢は、七つの火のともし火（神の七つの霊）の燃える炎の下にあります—— 4:5。
 - c. わたしたちは認識する必要がありますが、神の七つの霊が御座の前で燃えていることは、諸召会と関係があるだけでなく、諸召会のための世界情勢とも関係があります—— 1:4-5, 11. 22:16。